

◇戸 澤 勉 君

○議長（伊藤福章君）最初に、19番、戸澤 勉君の一般質問を許可いたします。戸澤 勉君、登壇願います。

（19番 戸澤 勉君 登壇）

○19番（戸澤 勉君）19番、戸澤 勉です。

まずもって、このたびの任期満了に伴う町長選挙において、無投票再選を果たされた松田町長に改めてお祝いを申し上げます。松田町長の1期目の意欲にあふれたまちづくりにより、いち早く美郷町意識が根つき、融和と前進につながっていると思います。2期目にますます期待いたしまして、質問に入ります。

仙北組合病院の建設計画の現在の状況と今後の対応についてであります。

多くの町民の方々が長い間待ち望んでいる仙北組合病院の建設計画はどうなっているのでしょうか。高度化、多様化する地域の医療ニーズに対応すべく、療養環境の整備と施設や医療機器の近代化、医療サービスの充実を図り、住民の健康と生命を守ることから、一日も早い建設を働きかけるべきと思います。

雄勝中央病院や平鹿総合病院が相次いで新築され、通院した方々が口々に、すごく立派な病院だ、早く仙北組合病院建てばいいのになと言っております。かつて新聞紙上に仙北組合総合病院の改築は10年以内、平成26年着工とも発表されましたが、その後の状況についてお伺いいたします。

私の聞くところでは、J A秋田厚生連の決算状況は相次いだ病院の新築により、備品整備や移転費用、減価償却費等の経費が増大したことと、また診療報酬の引き下げや医師の確保が困難なことから患者の減少を招き、一部の病棟の休止となり、2年連続の大幅な赤字を計上し、財務状況が急速に悪化しているようです。

このことから、経営の早期健全化を目指し、これまでの運営方法を見直すと同時に、病院規模や医療機能の見直しを検討するとあります。

住民の中には、私たちが生きているうちに組合病院建つべかと、切実な声があります。町民の健康と生命を守ることが行政の大きな責務であり、厳しい状況下とは思いますが、関係機関が協議を重ね、知恵を出し合って、一日も早い建設に向けて努力していただきたいと思います。

このことに対する町長の姿勢をお伺いいたします。

○議長（伊藤福章君）答弁を求めます。町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君）ただいまのご質問にお答えいたします。

仙北組合総合病院の移転新築につきましては、平成9年2月に仙北組合総合病院長の諮問にこたえるため設置された仙北組合病院建築検討委員会で平成14年2月までに11回にわたって検討協議され、その結果として示されたものです。

その後、雄勝中央病院や平鹿総合病院、鹿角などの改築が県厚生連の整備方針に含まれたものの、仙北組合総合病院については進展が見られなかったことから、平成17年に早期移転新築推進会議を立ち上げ、官民一体の運動を推進し、平成18年5月に推進会議が主催した地域医療シンポジウムで県厚生連経営管理委員長から一つのめどとして10年後のオープンという表明があった経緯があります。

しかし、その後、新築については残念ながら明確な見通しを持てる具体のお話を伺っていないのが現在の状況です。もちろんこの間、大仙市や仙北市と一体となって早期移転新築の見通しを出してもらおうよう、折に触れて働きかけは行っております。しかし、現在の状況になっている背景には、議員ご指摘のような県厚生連の事情があるようで、その課題についてどういうふうに具体的に解決を図り、仙北組合総合病院の新築につなげてまいるつもりでいらっしゃるのか、近隣市とともにしっかりと伺ってまいりたいと存じます。

また、仙北組合総合病院については二次医療圏の中核病院と位置づけられておりますので、秋田県医療保健福祉計画に責任を持つ県が今後その責任をどういう姿勢と内容で行動に移されていかれるのか、情報収集とともに注視してまいりたいと存じます。

いずれ美郷町といたしましては、町民の健康と生命を守る責務は認識しているつもりでありますので、県厚生連及び県の新築に対する具体的な姿勢と方向性、内容が示されるよう、引き続き努力を重ねるとともに、納得できる方向性等が示された段階では、町としてできるだけの協力はしてまいりたいと考えております。

以上です。

○議長（伊藤福章君）19番、再質問ありますか。19番、戸澤 勉君の再質問を許可します。

○19番（戸澤 勉君）新聞報道からすれば大分後退しているようですけれども、町長もたしか組合病院の運営委員になっているかと思えます。

そこで、私もJAに行って幹部からお話を聞いてきたんですけれども、特に昨年、一昨年と赤字が大変大きくて、財務状況の悪化を招いたということは先ほど申し上げましたけれども、それが思いのほか大きかったということでもあります。昨年度には、十の病院のすべてで計画を下回っておりまして、それが最初は黒字計画が2億円ほどだったということなんですけれども、実際は15億円も下回りまして、損失が13億2,400万ということのようでございます。

そのことからしても、なぜそうなっているかというような話を聞きましたが、それはやはり医師不

足が非常に大きいということでもあります。議長もたしか運営委員ではないかなと思うんですが、どこの病院も計画をそのように下回ってきたというのは深刻な医師不足が背景にあるようでございます。そのことは一地域ではとてもできないわけでございますけれども、そこにもやはり地域格差というものがあるように思います。それが深刻な今の地域医療が崩壊の危機的状況をあらわしているということのようでございますけれども。

組合病院はかつてから黒字経営で大きく貢献してきたというお話でございます。それも50億円をはるかに超えておるといふ累積の黒字だったようではございますけれども、昨年度においては9,900万の黒字ということで、これまた計画より2億2,000万も下がっておるといふことでした。それもやはり眼科医などがいないということからして、3億円も減収したというお話でございます。

いずれにいたしましても、以上のことからしても、やはり国にしっかり地域の医療に対して目を向けてもらうためにも、その国を動かすためにも町村会やあらゆる機会を通して町長に訴えていただき、いち早くこの地域に、大分老朽化も進んでおることでもありますので、深刻な問題として頑張っていたきたいと思いますがいま一度お願いいたします。

○議長（伊藤福章君）答弁を求めます。町長、自席でお願いします。

○町長（松田知己君）ただいまの再質問についてお答えいたします。

議員おっしゃるとおり、病院経営の赤字の根幹の原因となっているのが医師不足による患者数の減少ということを経営運営委員会の中でも伺ったことがあります。医師の確保につきましては、県初め関係各機関がその確保に一生懸命になっているところでもありますので、町としても一体となった取り組みに参画してまいりますし、また今後とも努力を続けてまいります。

また、仙北組合病院の新築につきましても、議員ご指摘のとおり、一生懸命頑張ることがまずは物が動くために必要な根幹であると認識しておりますので、先ほど答弁いたしましたとおり、近隣市とともに一体となって頑張っている所存です。

以上です。

○議長（伊藤福章君）19番、戸澤 勉君、再質問ありますか。

○19番（戸澤 勉君）ありがとうございました。これで終わります。

○議長（伊藤福章君）これで19番、戸澤 勉君の一般質問を終わります。